

## 4

## 実戦演習

## 発展総合問題

学習日

/

① 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

〈芝・一部略〉

I 地球は水の惑星と呼ばれるほど、あ水が豊富です。地球上の水の量は97%が海洋であり、湖や川の水の量は0.01%程度に過ぎません。海洋のうち最も広い面積をほこるのが太平洋であり、次いで大西洋と(①)洋が同じくらいの面積を占めています。この3つの海洋を世界の三大洋といいます。

II 水はさまざまな地形をつくります。い波の浸食作用を受けてさまざまな形の島や半島ができ、川の侵食作用により険しい山地やなだらかな平野がつくられます。大河川がつくる平野には米の生産がさかんな地域が多くみられます。う信濃川の河口付近は(②)平野という沖積平野が広がり、古くから米の生産が多い地域です。え水は農業だけでなく、工場でも大量に使いますし、私たちの生活にもなくてはならないものです。また、お多くの都市は河川がつくる低平地に立地していますが、そのため降水量が急速に増大するとか洪水が発生し、多くの被害をだすこともあります。

III 日本は降水量が比較的多く、地形も複雑なため、国土の約66%が森林におおわれています。戦後、植林活動がおこなわれましたが、き林業は手間がかかるうえに利益が少ないため、当初の計画通り発達せず、く天然林も多く残っています。近年は東アジアで工業化が進んだことで、西日本を中心に(③)が確認されるようになり、森林への悪影響が心配されています。

□(1) 文章の空欄(①)~(③)に適する語を答えなさい。

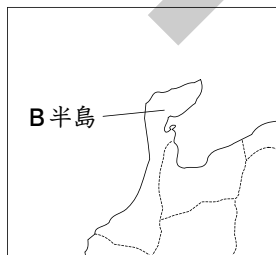
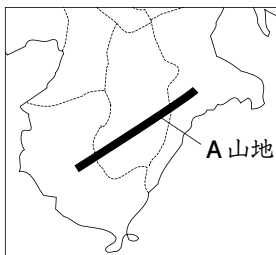
①[ ] ②[ ] ③[ ]

□(2) 下線部あに関して、海と陸地の比率について述べた次の文の空欄AとBにあてはまる数字を最も簡単な整数で答えなさい。

A[ ] B[ ]

海：陸の比率は( A )：( B )である。

□(3) 下線部いについて、次の図のAとBの地名を答えなさい。



A[ ]

B[ ]

※図の縮尺は同じではない。

□(4) 下線部うについて、右の図は信濃川の月別平均水量を示しています。この図を説明した文として正しいものを次から1つ選び、記号で答えなさい。 [ ]

ア 4月と5月は上流部で梅雨の時期にはいるため水量が多い。

イ 4月と5月は上流部で雪解けの時期にはいるため水量が多い。

ウ 12月と1月は上流部で降水量が少ない時期であるため水量が少ない。

エ 12月と1月は上流部で降水量が多い時期になるため水量が多い。

